



## 姫路文学館



## DATA・BOARD 49



- ① 兵庫県姫路市山野井町84
- ② 延長約80m, 高さ2~3.5m
- ③ 亀甲石の壁面
- ④ 御影石

姫路文学館は、大正時代に別荘として建てられ、戦後は市営結婚式場として市民に広く親しまれていた旧男山市民寮の跡地に新設されたものである。

このたび新入路の整備が行われ、旧市民寮の擁壁部分を構成し、男山の歴史を見守り続けてきた亀甲石は、文学館入り口のアプローチ壁面として蘇った。

亀甲石の壁面は、樹齢百年を超えるケヤキ並木の中を通り、来館者は壁面に沿って右手に姫山にそびえ建つ姫路城の雄姿を眺め、左手に池の水の流れの音を聞きながら播磨出身の文学者に思いを馳せ、文学館までの道のりを楽しむ。

また、壁面は文学館の白亜の建物とみごとに調和し、姫路の城下町にふさわしい落ち着いた景観を醸し出している。